

主要な経済指標の発表予定と予測 (2/9~2/13)

経済調査部

藤 貴伸

03-3591-1340

【来週の注目材料】※ () 内はみずほ総研予想

- 9日 : 12月の経常収支 (2,837億円の黒字)
 : 1月の景気ウォッチャー調査
 : 1月の消費動向調査
- 10日 : 1月のマネーストック
 : 12月の第3次産業活動指数 (前月比▲0.2%、前年比▲0.6%)
- 12日 : 12月の機械受注 (船舶・電力を除く民需) (前月比+0.5%、前年比+3.4%)
 : 1月の国内企業物価指数 (前月比▲0.7%、前年比+1.1%)

名目賃金は前年比増加幅が拡大

4日に発表された12月の名目賃金は前年比+1.6% (11月同+0.1%)と増加幅が拡大した。所定外給与 (11月同+0.9%⇒12月同+0.5%)の伸びが縮小したものの、冬季ボーナス増加の影響から特別給与 (11月同+1.6%⇒12月同+2.6%)の伸びが拡大したほか、所定内給与 (11月同+0.0%⇒12月同+0.3%)の緩やかな増加が続いた。また、物価調整後の実質賃金 (持家の帰属家賃を除く総合消費者物価指数により実質化)は、同▲1.4% (11月同▲2.7%)となった。エネルギー価格の値下がりなどを背景に物価の伸びが緩やかに鈍化していることから、実質賃金の減少幅は緩やかに縮小している。

経常収支 (原数値) は6カ月連続の黒字

来週は経常収支、第3次産業活動指数、国内企業物価指数などが発表される。9日に発表される12月の経常収支は2,837億円の黒字 (11月4,330億円の黒字)と予測する。円安により第一次所得収支が高水準の黒字を維持するなか、貿易収支・サービス収支とも赤字が縮小し、経常収支は6カ月連続で黒字と予測する。季節調整値では月次ベースで2011年2月以来の1兆円超を見込む。

第3次産業活動指数は前月比マイナス

10日に発表される12月の第3次産業活動指数は前月比▲0.2% (11月同+0.2%)と予測する。株式売買高が減少したことなどから金融業の活動指数が低下し、第3次産業活動指数は前月比マイナスとなる見通しである。

機械受注は前月比小幅のプラス

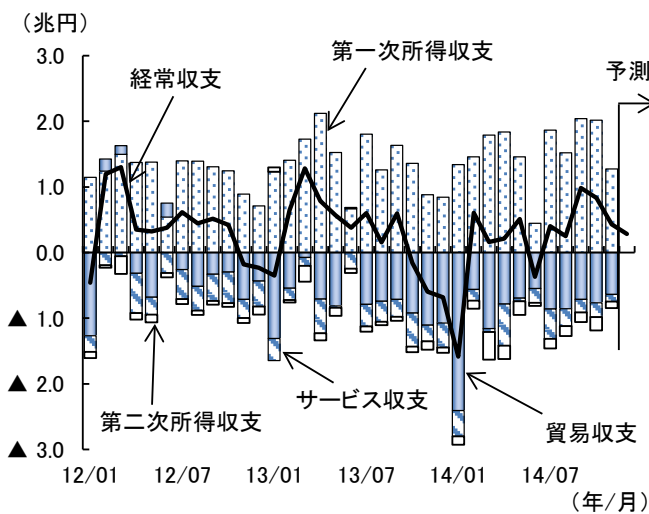
12日に発表される12月の機械受注 (船舶・電力を除く民需)は、前月比+0.5% (11月同+1.3%)と予測する。製造業・非製造業ともに上向いてい

る業種が多いものの、足元で増勢に一服感がみられる。12月の機械受注は前月比小幅のプラスに止まり、10～12月期は内閣府見通し（前期比▲0.3%）の達成が難しいだろう。

国内企業物価指数は伸び率が鈍化

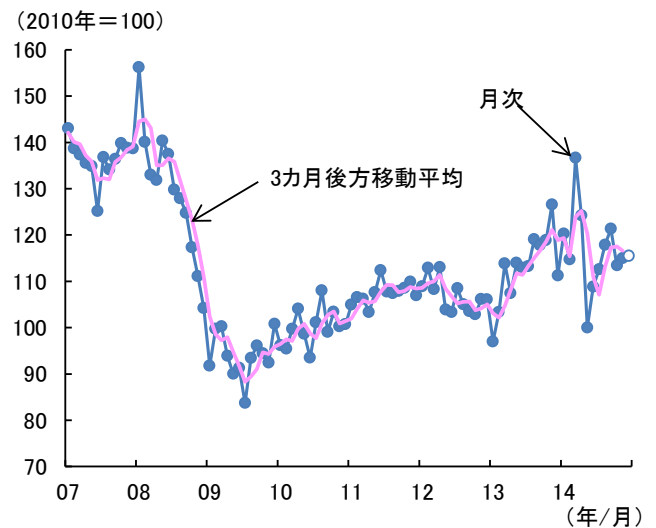
同日発表される 1月の国内企業物価指数は前年比+1.1%（12月同+1.9%）と予測する。原油安や国際商品市況の値下がり背景下に、国内企業物価指数は伸び率が鈍化する見通しである。

図表1 経常収支



(注)2014年12月の値はみずほ総合研究所による予測値。
(資料)日本銀行「国際収支統計」

図表2 機械受注（船舶・電力を除く民需）



(注)2014年12月の値はみずほ総合研究所による予測値。
(資料)内閣府「機械受注統計調査報告」

執筆担当～ 藤貴伸

予測担当～ 経常収支：大和香織、国内企業物価指数：風間春香、

第3次産業活動指数、機械受注統計：坂中弥生

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等	予想	前回	前々回
2/6(金)	米 雇用統計(1月)			
	失業率 非農業部門雇用者数 時間当たり賃金(全従業員ベース)	[5.6%] [+223千人] [+0.3%]	5.6% +252千人 ▲0.2%	5.8% +353千人 +0.2%
2/8(日)	中 貿易収支(1月)	米ドル	+484億 ^{ドル}	+496億 ^{ドル}
	輸出総額(1月)	前年比	+5.5%	+9.7%
	輸入総額(1月)	前年比	▲3.0%	▲2.4%
2/9(月)	日 国際収支(12月速報)	經常収支(前年比) 貿易収支(前年比)	[+2,837億円] [-] [▲4,852億円] [-]	+4,330億円 - ▲6,368億円 -
	景気ウォッチャー調査(1月)	現状判断DI	N.A.	45.2
	全国企業倒産件数[帝国データ](1月)		N.A.	647
	消費動向調査(1月)	消費者態度指数	N.A.	38.8
				41.5
2/10(火)	日 第3次産業活動指数(12月)	前月比	[▲0.2%]	+0.2%
	マネーストック(1月速報)	M2 前年比 M3 前年比 広義流動性 前年比	N.A. N.A. N.A.	+3.6% +2.9% +3.4%
	中 消費者物価指数(1月)	前年比	+1.0%	+1.5%
	米 3年国債入札			
	G20(20カ国財務大臣・中央銀行総裁会議、イスタンブール)(9・10日)			
2/11(水)	日 建国記念の日(日本休場)			
	米 10年国債入札			
2/12(木)	日 機械受注(12月)	前月比 前年比	[+0.5%] [▲3.4%]	+1.3% ▲14.6%
	国内企業物価指数(1月)	前月比 前年比	[▲0.7%] [+1.1%]	▲0.4% +1.9%
	米 小売売上高(1月)	前月比	[▲0.3%]	▲0.9%
	失業保険新規申請件数(～2/7)		[280千人]	278千人
	米 30年国債入札			
	比 金融政策決定会合			
2/13(金)	日 5年利付国債入札			
	米 ミシガン大消費者信頼感指数(2月速報)		[98.1]	98.1
				93.6

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。

日：日本、米：米国、中：中国、比：フィリピン